

ID	質問内容	ご回答
1	子どもを対象とした活動において、特に大切にされていることがありますましたらおきかせください。	ご質問いただきありがとうございます。 ジオ学習を通して、子どもたちに故郷への愛着や誇りを育んでもらいたいと考えています。学習後には、印象に残ったことや興味をもったことについて、家族や地域の方など、誰でもよいのでぜひ話をしてほしいと伝えています。特に、家庭での会話を大切にし、子どもから親世代へ、故郷の魅力が自然と広がっていくことを願っています。
2	興味深い話、きかせていただき、ありがとうございます。西日本の人から見て筑波山周辺のことをどのように考えていますか？何が有名ですか？	ご質問いただきありがとうございます。 昨年度の現地調査を通じて、筑波山地域には、目に見えるものだけでなく、目に見えない「技」や「知恵」といった無形の伝統が数多く残されていることを実感しました。茅葺きや石工の技術、梵鐘づくりなど、長い歴史の中で受け継がれてきたこれらの技は、この地域の大きな魅力だと感じています。
3	・教育における活動のほかに、ジオパーク認定地域の環境保全なども行っているのでしょうか？ ・教育における活動では、関連する自治体の教育委員会と連携しているのでしょうか？	ご質問いただきありがとうございます。 ・日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として、「ブルーサンタ」として青いサンタ衣装を身にまとい、不定期に海岸部のジオサイトにおける保全活動に取り組んでいます。活動にあたっては、地元自治体やジオパークガイドと連携し、地域一体となった取り組みを行っています。 また、地元のB&G海洋センターとパートナーシップ協定を締結し、海洋ごみに関する教育活動や、参加者とともに海岸清掃を実施し、回収した海洋ごみを活用したアクセサリーづくりなどの活動にも取り組んでいます。 ・教育委員会との連携においては、ジオパーク学習に関する各学校への周知・案内をはじめ、地元の夏休み期間に開催されるジオパーク作品展の実施についても協力して取り組んでいます。
4	認定審査を通して感じられた筑波山地域ジオパークの強み、うり、と弱み、その解決策を教えてください。	ご質問いただきありがとうございます。 前述の内容とも重なりますが、筑波山地域ジオパークには、無形の伝統技術が数多く残されていることが大きな魅力だと感じています。一方で、そうした技術を受け継ぐ担い手が減ってきていることも課題だと思います。 この地域ならではの素晴らしい技術に実際に触れてもらえるよう、教育旅行や一般観光客向けのツアーなどを企画し、無形の技術に関心をもつ人を少しづつ増やしていくことが大切だと考えています。
5	・教育に関する活動は、ジオパーク担当者は何人くらいで担当していますか？ ・ガイド団体（ジオガイド）が、こうした教育に関するツアーを企画することはありますか？	ご質問いただきありがとうございます。 学習受付の窓口業務は、ジオパーク事務局において主に専門員1名が担当していますが、現地での学習提供については、主にジオパークガイドが担っています。現在、島原半島のジオパークガイドは延べ31名が登録しており、そのうち約半数のガイドが中核的な役割を担っています。 なお、ガイドが教育を目的としたツアーを直接企画することなく、企画の内容を考える主担当は専門員が務めています。専門員が作成したプログラムに基づき、ガイドには現地での学習支援や案内などを担当してもらっている体制です。
6	ジオパークの活動を広げるためには「知る」機会を増やすことが大切だと思うのですが、紹介された学習プログラムは1回限りのものではなく対象や会場を変えて何度も開催されているのでしょうか。 あと、ジオパークとは関係あるのかどうか分からぬのですが、島原の漁業は海水温上昇の影響をどのような形で受けていますか？	ご質問いただきありがとうございます。 ・学習プログラムは1回きりではなく、学年や学校を変えながら継続して実施しています。以前の勤務校でジオパーク学習に興味をもってくださった先生が、異動先の学校でも同じように学習を企画してくれることも多く、そうしたつながりの中で、少しづつ実施の機会が増えてきています。 ・海水温の上昇の影響は確実に受けており、不漁に加えて、講演でも紹介した有明海の海苔ですが、海苔養殖においては海苔の色が薄くなる「色落ち」の被害も発生しています。

ID	質問内容	ご回答
7	<p>学校へのジオパーク教育、59校中8～7割が学校教育として利用されているが、学校教育を行なう組織体制を教えてほしい。（先生の役割、ジオパークガイドの役割、ジオパーク専門員の役割、地域住民の役割）</p>	<p>ご質問いただきありがとうございます。</p> <p>ジオパーク学習の教育体制は、以下のとおりです。</p> <p>学校・教員</p> <p>教員が学校内におけるジオパーク学習を企画し、主に総合的な学習の時間、社会科、理科の授業の中で学習時間を確保しています。なお、島原市教育委員会では、教育課程内の学習プログラムにジオパーク学習を位置づけており、小学3年生および中学1年生において必ず学習が実施される体制が整えられています。</p> <p>ジオパークガイド</p> <p>学校からの依頼をもとに、現地での学習を提供しています。現地見の実施や学校との事前調整などもガイドが担っています。</p> <p>専門員</p> <p>主に学校等からの学習依頼の窓口対応を担当し、各ガイドへの役割分担の指示、学習資料の提供、ガイドが作成した資料の精査を行っています。また、学校が企画した学習内容について、具体的な学習内容や行程に関する助言・支援も行っています。</p> <p>地域住民</p> <p>学習行程の中で立ち寄る飲食店、神社、仏閣などにおいて、地域の歴史や文化、その土地ならではの情報提供に協力していただいている。実際に現場で話をして頂くこともあります。</p>
8	<p>・ジオパークの学習プログラムが具体的ですばらしい。しかし小学生がむずかしい。</p> <p>★学習プログラムの実践者の育成方法をどうしているのか。</p>	<p>ご質問いただきありがとうございます。</p> <p>学習の主な担い手であるジオパークガイドに対しては、ジオパーク事務局が外部講師を招いた定期的な研修を実施しています。また、ガイドの会においては、定例会の中で各自が話題を持ち寄り、相互に研鑽を重ねる取り組みも行っています。例えば、英語が堪能なガイドが中心となって、英語対応に関する研修を行うなど、ガイド同士による自主的な学び合いも進められています。</p> <p>さらに、教員が集まる部会に専門員やガイドが出向き、教職員向けの学習会を毎年実施し、学校教育との連携強化にも努めています。</p>
9	<p>ふるさとの自然を自慢できる心を育て、将来の地球を守る心を培っていく。人間活動（経済活動）をどのように位置づけているか？資源利用から資源の枯かつ、環境破壊</p>	<p>ご質問いただきありがとうございます。</p> <p>身近に見ているものや風景も、将来にわたって同じように見られるとは限らないことを子どもたちに伝えています。前述のとおり、気候変動による海水温の上昇は有明海の不漁などに影響しており、人間の活動がもたらした問題もあります。地球規模の課題と地域の課題は密接に関わっていることを、日常にある風景や身近なものと関連付けながら学習を進めることで、故郷の自然の大切さや、地球環境を守る心を育むことを意識しています。</p>